

くらし・家庭

介護サービスを利用することの良さを存じてほしい。年齢を重ねたり、病状や体力の衰えが進んだりすると、気が落ち、外とのつながりが切れてしまふことがあります。気づけば一日中パジャマのまま横になり、テレビを見て過ごす。そんな日々が続くと、生活のリズムがゆつくりと崩れ、気力も身体も衰えてしまいます。

ほっこり訪問介護

門脇めぐみ ④

自分らしさスイッチ



イラスト こやまもえ

しかし介護サービスは、その乱れた生活の流れを整え、再び日常を取り戻すきっかけをつくることができます。同居家族のいる要介護1の女性は、かつて社会的なおしゃれが好きでした。けれど体力の低下とともに外出がおっくうになり、着替える理由も見つからず、パジャマで過ごす日が増えていました。ケアマネの勧めで週2回のデイサービスに通い始めると、生活が少しずつ変わりました。早起きをして顔を洗い、鏡の前でお気に入りの洋服を選ぶ。その姿は、働きながら入と関わることを楽しんでいた頃に戻ったようだと家族も喜びました。「もつと早くここに来たかった」と笑いながら、体操にも積極的に参加するようになり、デイサービスの日を楽しみにするようになりました。介護サービスは、本人が気づかないうちに乱れてしまった生活のペースを整え、日常を取り戻すための力になります。介護職は、その人の中に眠っている「やる気スイッチ」を見つけ、再び自分らしい毎日の歩みを手助けするプロフェッショナルなのです。(社会福祉法人千葉勤労者福祉会介護部長 火曜掲載)



橋本さんの報告聞く分科会参加者 8月23日 神戸市西区



地域で豊かな子育てをしたい。その支えになるのが保育園です。全国保育園団体合同研究会「分科会」地域の保育要求実現に向けた運動と実践」を開催。地域で保育や子育ての課題や要求をどうつなげているのか、実現に向けて何を大事にしているのかなど、保護者や園長らが経験を語りました。(日本共産党子どもの権利委員会・中川葵)

分科会「地域の保育要求実現に向けた運動と実践」から

願い実現 対市懇談

保護者会活動に願い込め

埼玉県熊谷市から参加者は赤ちゃん連れで参した橋本すみれさん。自加。「現場の率直な現状を市に伝える大切な場になった」と言います。保護者会活動として保育園問題委員会に参加した取り組みを、「大変な活動ながらも、その活動の意義を実感している」と話します。同委員会は、園で保育情勢を学ぶ学習会を実施。よりよい保育を求める署名を園や地域で広げています。秋の保育大集会には、パズルなどで資金を作り大型バス2台(70人)で、遠足気分を楽しんで参加しています。対市懇談も大切な取り組みです。懇談は平日の昼間。保護者同士誘い合い、産休・育休中の保護

母親が涙 公園調査

家庭の悩み支える地域へ

大阪市浪速区にある愛染橋保育園・児童館勤務の吉田正義さんは、地域福祉をテーマに活動を報告しました。吉田さんは「地域福祉とは、住民が地域の課題を発見し、住民自身が課題解決に取り組むことだ」と言います。「卒園

子どもの声を聴く ④



小学校教員・情緒障害等通級指導

小橋 清澄

夏のある日。通級の教室に、高校生のタロウが訪ねてきた。4年ぶりの再会。私はタロウの担当教員ではなかった。ただ、毎週、グループ指導で一緒にあった。互いの悩みごとを出し合い、考え合う時間を共に過ごした。帰る際、私がタロウに「今、振り返ると、通級指導の教室を使ってみて、よかったと思う？」とたずねた。タロウは、少し考えてから「よかったと思います。ぼく、5、6年の

聞いてもらえるのがよかった

頃、イライラしていたでしょう。それを通級で聞いてもらったのがよかったと語った。タロウは、当時、クラス仲間関係や学習面で悩んだり葛藤したりしていた。同僚と私は、彼への支援をめぐって何度も話し合った。担当する通級の教室では、子どもと教師との対話の積み重ねを重視している。子どもが自ら自分の感覚・感情・思考を捉え、言葉にできるように促してほしかった。子どもが安心して語れ、「声」を受けとめてもらえることは、確かな成長につながる。卒業生の言葉に私は力をもらった。(火曜掲載)

池上正子の 今晚のおかず



先にナスを蒸し焼きにし、別で肉のあんかけを作ってください。◆作り方 ①ナスはヘタを取り、長さ半分に切って縦4〜6等分に切る。ニンニクとネギはみじん切り。②フライパンにナスを入れ、油大さじ2を回しかけ、返して全体に油をからませて重ならないように並べる。③ふたをして中火で3分蒸し焼きにし、上下返して3分蒸し焼きにして器に盛る。

◆材料(2人分) ナス3本/豚ひき肉150g/ニンニク1片/長ネギ10g/みそ大さじ1〜2/トウバンジャン小さじ1=計450円

蒸し焼きナスのマーボー

④ ③のフライパンにごま油小さじ1とニンニク、長ネギを入れて弱火にかけ、香りが出たらひき肉を加え、中火で炒める。⑤肉の色が変わったら水50g、しょうゆ大さじ2、みそ、酒大さじ2、砂糖小さじ1、トウバンジャンをまぜて3分煮、かたくり粉・水各小さじ1をまぜて回し入れ、とろみをつける。⑥ ③に⑤をかける。(1人分406kcal、塩分2.2g)

小さな生き物とともに

④…… リー 智子



玉川上水46歳を歩く＝出口みちたかさん撮影

世代を超え、つながる

私たちの暮らしは、多くの生き物に支えられていて、私自身も生きていくことを重ねていく必要があります。生き物たちの存在が、私たちに与えている影響は、私たちが人間として存在していることそのものです。ならば、生き物を支えることから始めよう。2013年に「ちむく」という会を立ち上げました。地球規模の危機に對して、私にできることは、まず地域で小さな活動を続けることでした。そんな頃、探検家の関野吉晴さんと出会い、物質の循環装置などの地球永住計画」という活動にたづね、いろいろな生き物の体の中を通り過ぎて歩いて探ることを玉川上水の生き物観察会で行う、お年寄りにも楽しめるという3本です。関野さんからは、この危機的時代に、人と動物が共生する環境を整えることが、社会にもっと目を向けるべきだと言った。46歳を歩く。私は、46歳を歩いている中で、生き物の体は物質の循環装置なのだを感じることになりました。2020/2021の公式プロジェクトとなり、小学生3人を含む40人余り、12時間半かけて完歩しました。その後、宇宙の歴史138億年にあわせ、「多摩川138歳を歩く」活動へと発展。22年には、友人家族や仲間を含む約30人とともに歩きまわりました。私一人の活動ではなく、友人たちが準備から実施まで担ってくれました。「46歳」の方は毎年続けており、200人前後が集まったときもありました。受け継がれる。玉川上水を長い年月にわたって守ってきた人たちの歴史にも、目を向けたい。その一人、当時88歳の庄司徳治さんには12回お話を伺い、18年の語り、語る。玉川上水の、これまでとこれからというイベントの開催につながりました。高度成長期には、玉川上水全域を暗渠にする計画もありましたが、「自然を守りたい」というのは、生半かな気持ちではできない。暗渠化に反対し、玉川上水を守った人から受け取った言葉、を、庄司さんは最後に私たちに手渡してくれました。自然を守る思いは、世代を超えて受け継がれていくのだと思います。長く続けることで、私の小さな活動も多くの人たちをつなげてくれました。初めは講師を探すのも大変でしたが、今では大勢の専門家が協力してくださっています。幼稚園からずっと観察会に参加してくれているお子さんが小学4年生のとき、「玉川上水って本当に大事だね。守らなきゃいけないね」とボロリと言った。お母さんが伝えてくれました。(ちむくい ちいさな虫や草やいもをのちを支援の会 代表)



玉川上水の土を絵の具にして、子どもたちと絵を描く＝林俊児さん撮影



完成した恐竜



生き物たちの集合「玉川」の形を子どもたちが描いて描き歩く＝林俊児さん撮影

玉川上水を長い年月にわたって守ってきた人たちの歴史にも、目を向けたい。その一人、当時88歳の庄司徳治さんには12回お話を伺い、18年の語り、語る。玉川上水の、これまでとこれからというイベントの開催につながりました。高度成長期には、玉川上水全域を暗渠にする計画もありましたが、「自然を守りたい」というのは、生半かな気持ちではできない。暗渠化に反対し、玉川上水を守った人から受け取った言葉、を、庄司さんは最後に私たちに手渡してくれました。自然を守る思いは、世代を超えて受け継がれていくのだと思います。長く続けることで、私の小さな活動も多くの人たちをつなげてくれました。初めは講師を探すのも大変でしたが、今では大勢の専門家が協力してくださっています。幼稚園からずっと観察会に参加してくれているお子さんが小学4年生のとき、「玉川上水って本当に大事だね。守らなきゃいけないね」とボロリと言った。お母さんが伝えてくれました。(ちむくい ちいさな虫や草やいもをのちを支援の会 代表)

(火曜掲載)